

絵画表現研究

2単位 2年(後期)

平木美鶴・教授/社会創生学科

【授業目的】 絵画表現をする上で基礎となる力を養う。

【授業概要】 絵画表現をするためには、表現を考える事とそれを表わすための技術が必要となるが、ここでは表現を考えるために毎週イメージデッサンの提出を求める。そして、アクリル絵の具を中心とした表現技法実習を行う。

【キーワード】 絵画

【履修上の注意】 アクリル絵具を各自購入してもらう。また、材料費を徴収する場合もある。

【到達目標】 絵画表現ができるようになる。

【授業計画】

1. 授業概要の説明
2. 封入樹脂によるボックスアートの制作 1
3. 封入樹脂によるボックスアートの制作 2
4. 封入樹脂によるボックスアートの制作 3
5. 封入樹脂によるボックスアートの制作 4
6. 封入樹脂によるボックスアートの制作 5
7. 凹凸絵画制作 1
8. 凹凸絵画制作 2
9. 凹凸絵画制作 3
10. 凹凸絵画制作 4
11. 凹凸絵画制作 5
12. パネルによる絵画作品制作 1
13. パネルによる絵画作品制作 2
14. パネルによる絵画作品制作 3
15. パネルによる絵画作品制作 4
16. 総評

【成績評価】 提出作品とイメージデッサンで評価する。

【再試験】 行わない

【教科書】 教科書は、使用しない。

【授業コンテンツ】 <http://cms.db.tokushima-u.ac.jp/cgi-bin/toURL?EID=219436>

【連絡先】

⇒ 平木 (103, 088-656-7167, hiraki@ias.tokushima-u.ac.jp) MAIL (オフィスアワー: 月曜日 12時~13時)

【備考】 新カリキュラム科目「アート表現基礎」との読み替えである。